

宮城県感染症発生動向調査情報

令和3年02月04日発行

2021.1.25 ~ 2021.1.31 - 第4週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第1週	第2週	第3週	第4週
水痘	1 0.25	3 0.30		4 2.00		1 0.20		10 0.37	19 0.33	58				
流行性耳下腺炎								1 0.04	1 0.02	12				
感染性胃腸炎	10 2.50	14 1.40	5 1.00	10 5.00	15 5.00	24 4.80		95 3.52	173 2.98	695	◎	◎	◎	◎
手足口病								3 0.11	3 0.05	4				
伝染性紅斑								1 0.04	1 0.02	2				
突発性発しん		3 0.30	7 1.40		3 1.00	1 0.20	1 0.50	11 0.41	26 0.45	105	○	レ	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	0				
インフルエンザ									0 0.00	0				
咽頭結膜熱	2 0.50	2 0.20	2 0.40	1 0.50				7 0.26	14 0.24	67	○	レ		
流行性角結膜炎									0 0.00	7				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		11 1.10	2 0.40	4 2.00		3 0.60		18 0.67	38 0.66	127	○	○	○	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00						1 0.08	9				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	5 1.25			13 6.50					18 0.31	18				
感染症胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	0				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)							2						
	川崎病	2												
	不明発疹症							7						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名
登米管内 男性1名(第3週)
気仙沼管内 女性1名(第3週)
仙台管内 男性3名, 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
登米管内 男性1名(2020年第52週)
気仙沼管内 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

登米管内 女性1名, 男児1名*, 女児2名*(O26)

4類感染症: E型肝炎

仙台管内 男性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症

仙南管内 男児1名*(*Klebsiella aerogenes*)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症
仙台管内 女性1名
後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性1名
梅毒
石巻管内 女性1名
仙台管内 男性1名(2020年第52週)
男性1名(第3週), 女性1名

指定感染症: 新型コロナウイルス感染症

仙南管内 女性4名
塩釜管内 男性9名, 女性12名
大崎管内 男性6名, 女性5名
石巻管内 男性14名, 女性12名
気仙沼管内 男性4名, 女性6名
仙台管内 女性2名(2020年第53週)
男性35名, 女性20名(第1週)
男性8名, 女性3名(第2週)
男性13名, 女性13名(第3週)
男性7名, 女性2名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[水痘]

栗原管内で警報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~

感染性胃腸炎症患者より

塩釜管内 第3週採取分 /ロウイルスGⅡ群 5件

腸管出血性大腸菌感染症患者より

登米管内のO26関連 第4週採取分 O26 3件

新型コロナウイルス感染症患者より

仙南管内 第4週採取分 SARS-CoV-2 2件
塩釜管内 第4週採取分 SARS-CoV-2 3件
石巻管内 第4週採取分 SARS-CoV-2 8件
気仙沼管内 第4週採取分 SARS-CoV-2 7件

RSウイルス感染症患者より

栗原管内 第4週採取分 RSウイルス(A型) 5件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症】

県内の感染者数は2月3日現在の累計で3436名となりました。この一週間ほどで、一日当たりの感染者数が減少傾向になるなど動向に変化が見られますが、引き続き注意が必要です。人と人との距離の確保、手洗いの励行、マスクの着用、3密(密閉・密集・密接)を避けるなどの基本的な感染対策を今一度心がけてください。

【RSウイルス感染症】

夏から冬に上下気道炎を引き起こす代表的なウイルスであるRSウイルスによる呼吸器感染症です。県内においても例年冬期に患者が多くみられていたが、2020年の後半は患者報告がほとんどありませんでした。今週(第4週)栗原管内の小児科定点より、13名(0歳~4歳)の患者報告があり、また同管内の保育施設で呼吸器症状を呈する幼児からRSウイルス(A型)が検出されました。RSウイルス感染症は集団施設や、家族内で効率よく感染伝播することが知られています。症状は鼻水、咳、発熱などの上下気道炎が主ですが、新生児や乳幼児が重症化しやすく、喘鳴、呼吸困難、哺乳低下などもみられます。冬期は呼吸器感染症が流行しやすい季節です。新型コロナウイルス感染症はもちろんのこと、RSウイルス感染症のように、小児を中心に集団発生しやすい感染症にも注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

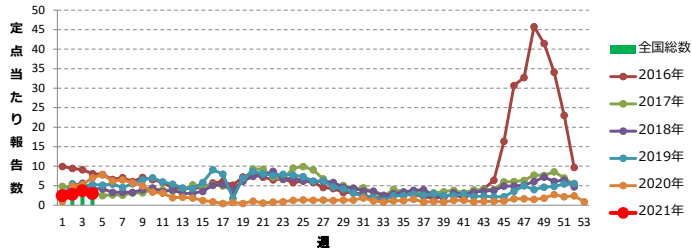
電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

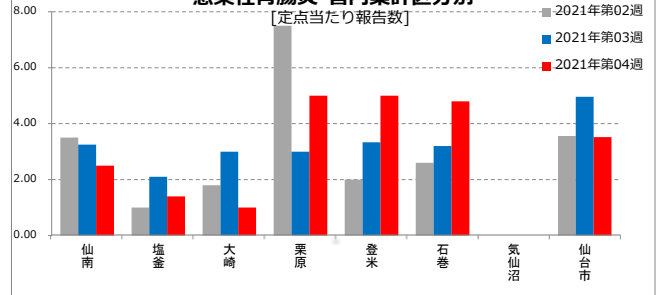
HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

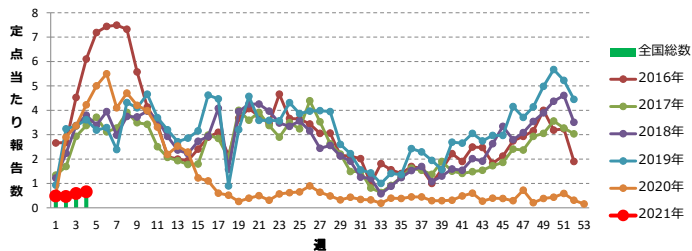
感染性胃腸炎



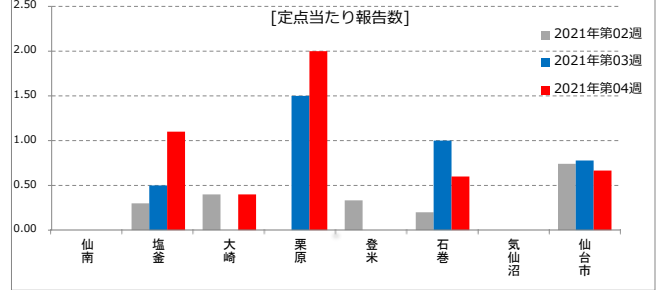
感染性胃腸炎-管内集計区分別



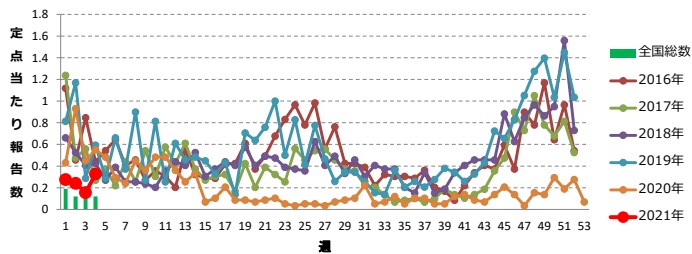
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



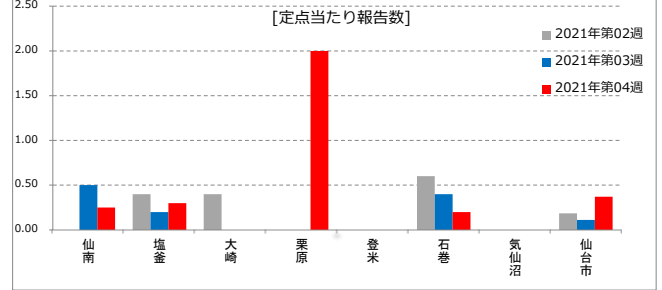
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎-管内集計区分別



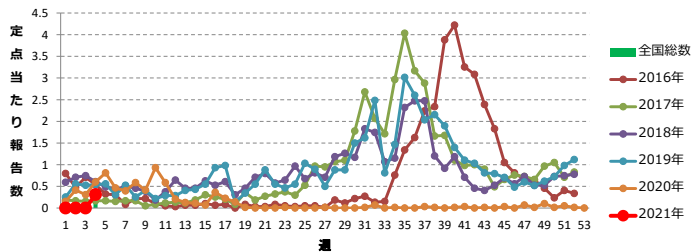
水痘



水痘-管内集計区分別



RSウイルス感染症



RSウイルス感染症-管内集計区分別

